



## 市議会議長選挙で、議長の押し付け合いが・・・？

# 市民を代表する市議会議長をこのような形で選出していいのか

11月5日第3回米原市臨時議会が開催されました。執行部から1件の報告と2件の条例改正が提案されましたが、主な議題は議長選出です。その審議の中で、信じられないようなことが行われました。それは、保守系会派10人（創政クラブ6人、清風クラブ3人、無党派1人）と市長と党の政策研究会マイバラ（7人）の市議会議長の押し付け合いです。市議会議長は、二元代表制の中で米原市を代表する一方の代表であり議会での知識や経験が重要です。そのような大事な役職は、米原市政や市議会全体の運営の中で慎重に計って選出すべきです。ところが今回の議長選挙で、保守系は政研マイバラを最大会派と言いながら、保守系の10人は完全に一致した行動をとり、会派の思惑や数の論理で政研マイバラの議員を選出するということが行われました。

### 議長・副議長選出の経過

1、執行部提出議案が全員一致で可決後、的場議長から辞職の申し出があり承認される。（議長は1年任期の申し合わせがあり、的場議長は2年間就任）

2、副議長が議長になり、議長選挙が行われる。投票結果については次の通り。

竹中健一（政研マイバラ） 10票

鏑田 明（清風クラブ） 7票

清水隆徳（日本共産党議員団） 3票

3、本会議場で、竹中議員より「当選1年の新人議員がなぜ議長に選出されるのか。議長就任は承認できない」との発言がなされる。

4、議会は休会となり、議会運営委員会が開催される。

5、議会運営委員会では、議長就任には議員本人の承認が必要との見解の中で、長時間話し合いが行われる。最終的に議会運営委員長と本人、会派代表との話し合いの中で、「これ以上議事を混乱させることはできない」として、竹中議員が承認。6、本会議が開催され、竹中議員が議長となり、副議長選挙が行われる。投票結果については次のとおり。

吉田周一郎（政研マイバラ） 10票

前川 明（創政クラブ） 10票

同数となり、くじによる選出となり、くじの結果、前川議員が副議長に選出されました。

以上が議長、副議長の選出の経過です。

### なぜこのような結果になったのか

議長選挙は秘密投票ですが、議員相互の話で総合すると、保守系議員が一致して、竹中議員に投票を行い、政研マイバラが鏑田議員に投票した結果と判断されます。

### 雑感

議長選挙では信じられないような結果でした。どこかの市では、議長選挙をめぐって贈収賄が行われたとか、議長になりたくて申し合わせを守らない議長や議員がいたとか。議長になりたくない人に議長を押し付ける姿、これが米原市議会の現状です。市民はどう見ているのか。襟を正さなくては。



### 保守系の横暴をゆるさない

日本共産党市議団としては、このような今回の保守系議員の横暴を許さないという立場で、副議長選挙では、政研マイバラの吉田議員に投票しました。今後の議会活動においては、市民本位の市政の確立を最優先し、説明責任を果たし、他会派との連携も図りながら、民主的な議会活動を行います。

日本共産党米原議員団は、同じ会派の清水議員に投票しました。なぜ、保守系議員は一致して、新人議員の竹中議員に投票したのか。それは、現在の議員構成が、保守系10人、市長と党7人、共産党3人のためです。今まで議長は保守系から選出され、本会議で議長は採決に加われないため、10対9で委員会審査を逆転されることがありました。その例が「集団的自衛権行使容認反対意見書」と「政府の過剰米処理意見書」です。保守系議員は一致して共産党提出の意見書に反対してきました。平和の問題や農家の切実な米価に対する意見書もことごとくつぶしてきました。

これらの意見書については、日本共産党議員団と政研マイバラが共同することにより可決しました。保守系はこれらが許せないとして、議長を政研マイバラに押し付けることにより本会議での数の確保を優先した結果です。

保守系議員には経験豊富な議員もおり、議長になりたいという議員もいます。それを曲げてでも数の論理に走ったのが、今回の議長選です。